

竹の消毒液置き完成

2021年6月10日（木崎詩恵，山下光二，蔡盟）

コロナ対応のアルコール消毒液置きが劣化が進んだため、保健師の打本さんの依頼に応じ、竹を使った消毒液置きを有志3人で作成しました。

1号機はモウソウチクの輪切りを立てて用い、底面に安定性を持たせました。数本のマダケを束にして支柱部にして丈夫な構造にしました。ボトルを入れる部分も輪切りモウソウチクを使って統一感を持たせました。

2号機はモウソウチクを割り消毒液の受け皿として用い、2本のマダケを支柱にしましたことでスタイリッシュな風貌になりました。受け皿は消毒液の幅に割ったことでフィットしました。

1号機

昼下がりに、サンダーの調子を確認するだけのつもりが、やり始めると手が止まりません。気がつけば竹を切りまくり、束ね、上部を結合し、別種の竹材を使って貫通させて消毒液をポンっ！できてしまいました！楽しくて夢中になりました。



上部を固定する



同じ長さに切った竹を束ねる



目につく部分を綺麗に削る

1号機



1号機の完成予想



完成 ドヤア！！



完成品 斜め写真



2号機

研究生、1年生、2年生の3人で共同作業
材料を見ながら相談して当初のデザインを
変えながら作製しました。使いやすく倒れ
ないようにするのが重要です。底を安定さ
せるのに一苦勞でした。
デザインやアイデアを形にするのは、や
はり楽しいです！



安定するように消毒液の容器のサイズに
合わせてモウソウチクを割る



グラインダーで割り口を磨ききれいにする作業
とモウソウチクの穴あけ作業



台となるモウソウチクに穴をあける

2号機



2号機の完成予想



完成 ドヤア！！



打本さんに使ってもらう



完成品 正面写真



完成記念写真